

施策名：広域交通ネットワークの整備推進

事業名	担当課・室名	ページ
(公)道路改良事業(公)地域活力基盤道路改良事業	道路建設課	2 / 2

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-9

事業名	(公) 道路改良事業 (公) 地域活力基盤道路改良事業	事業期間	平成	年度～平成	年度	政策区分	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実
	施策区分		広域交通ネットワークの整備推進				
総合評価		事業実施課(室)名	道路建設課			評価者	道路建設課長 稲井 康弘

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	観光振興や産業の活性化には、基盤となる広域交通ネットワークの構築が不可欠である。また、災害に脆弱な道路や規格を満たしていない路線が残されており、信頼性の高い道路ネットワークの形成が求められている。	事業の目的	広域連携を推進し、県外からの観光客の誘致や産業競争力の向上を図るために、「おおいたの道構想21(大分県中長期道路整備計画)」を基本計画として、高規格幹線道路と一体となって幹線ネットワークを形成する地域高規格道路や国道・県道の道路整備を進める。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①(公)道路改良事業 一般国道212号 耶馬溪道路、日田山国道路 ②(公)地域活力基盤道路改良事業 一般国道212号 日田拡幅 一般国道217号 平岩松崎バイパス 主要地方道 別府挾間線 浜脇2工区 主要地方道 大田杵築線 溝井工区 一般県道 三重新殿線 内田工区、赤嶺牟礼工区、牟礼前田工区 一般県道 床木海崎停車場線 海崎工区		総コスト	17,769,600	16,055,649	20,905,631
		事業費	17,769,600	16,055,649	20,905,631
		(うち一般財源)	792,884	733,418	824,435
		(うち繰越額)	9,984,118	6,572,736	6,384,852
		人件費			
		職員数(人)			

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
		目標値							一般県道床木海崎停車場線海崎工区や主要地方道別府挾間線浜脇2工区の供用開始により、安全性・快適性の向上や、迅速な消防・医療活動が可能になるなど、県内の道路整備は着実に進んでいる。今後も引き続き「選択と集中による事業効果の早期発現」を目標に、道路整備を推進していく。
		実績値							
		達成率							

### 中津日田道路

区間 項目	中津市 (中津港～旧三光村) L=9km	中津市 (旧三光村～旧本耶馬溪町) L=13km	中津市 (旧本耶馬溪町～旧耶馬溪町) L=5km	中津市 (旧耶馬溪町) L=5km	中津市 (旧耶馬溪町～旧山国町) L=8km	中津市 (旧山国町～日田市) L=9km	日田市 日田市 L=4km			
計画路線	H10.6.16	H6.12.16	H6.12.16	H6.12.16	H6.12.16	H6.12.16	H6.12.16			
調査区間	H10.12.18		H7.8.23	—	H18.3.30	H9.9.10	H9.9.10			
箇所名	中津港線①	中津港線②	中津道路	中津三光道路	三光本耶馬溪道路	本耶馬溪耶馬溪道路	耶馬溪道路	(仮)耶馬溪山国道路	日田山国道路	—
整備区間	— (中津港～定留IC) H27.3.22供用 L=2km	H11.12.17 (定留IC～ 犬丸IC) H21.3.20供用 L=2km	H10.12.18 (犬丸IC～ 伊藤田IC) H21.3.20供用 L=2km	H18.3.30 (伊藤田IC～ 中津IC) H27.2.28供用 L=3km	H19.3.30 (中津IC～ 本耶馬溪IC) 事業進捗率 17% L=13km	H7.8.23 (本耶馬溪IC～ 耶馬溪山移IC) H24.3.31供用 L=5km	H21.3.13 (耶馬溪山移IC～ 耶馬溪町大島) 事業進捗率 38% L=5km	—	H27.4.9 (山国町大字守実～ 日田市大字三和) 事業進捗率0.2% L=9km	—

### その他道路事業

代表路線名	事業実施の概要
一般国道212号	平成23年度から日田市において日田拡幅に事業着手している。
一般国道217号	平成22年度から津久見市上青江～同市セメント町間の平岩松崎バイパスに事業着手している。